

一般質問



わかたに しゅうじ
若谷 修治 議員
政治会



道の駅の設置を

Q 坂出北インターチェンジの近くに道の駅を望む声があるが、設置に対する考えは。

A 坂出北インターチェンジ近くに道の駅を設置することは、さぬき浜街道に接する好立地な場所、地域を活性化する拠点として非常に有効であると認識しています。

一方で、新たな道の駅の整備には、広大な敷地の確保、建設計画や財政負担の検討、建設後の施設運営手法、周辺地域での生活環境への影響など、設置についての検討課題も多く存在しています。

以上のことから、先進事例はもとより、PFIなどの民間資本の活用手法など、調査研究をしていきます。

(建設経済部長)



瀬戸内国際芸術祭沙弥島会場にオリジナルグッズを

Q 次回の瀬戸内国際芸術祭に向け、坂出産のサヌカイトや神戸芸術工科大学とコラボした商品など、オリジナルグッズを開発してはどうか。

A 次回芸術祭に向けた新たな本市のオリジナルグッズの開発については、今後、法人化した坂出市観光協会や関係機関と協力し、本市の特産品を取り入れた、本市ならではのオリジナルグッズの開発に取り組んでいきます。

(建設経済部長)



陸上競技施設の整備を

Q 本市には児童・生徒が陸上競技を練習する場所がないと言え、練習する環境を整備する考えはないか。

A 本市では、陸上競技施設を整備していないことから、児童・生徒の陸上競技の練習については、各学校の運動場にて実施しているものと認識しています。

本来であれば、陸上競技施設に練習してもらおうのが一番よいと思いますが、現段階において、タータントラックの整備については、難しいものと考えています。

(教育部長)

質問の主な項目

- ・学校給食の充実について
- ・スポーツ振興について
- ・道路整備について



まるおか とよかず
丸岡 豊和 議員
自民党市政会



自然を生かした緩衝緑地の整備を

Q 緩衝緑地を再整備する際、既存の木々を全て伐採することなく自然が感じられる公園にしたい。ただきたいが、いかがお考えか。

A 坂出緩衝緑地は、番の州地区や周辺の工業団地の開発に伴い、公害防止や市街地の生活環境の保全を目的として整備された緑地です。公害防止技術の向上や企業の取組により、現在における公害防止の役割は設置当初と比較し、大きく減少していますが、市街地の生活環境保全機能については引き続き配慮する必要が有ると考えています。

また、緩衝緑地内の木々は、本市における貴重な財産と考えていますので、整備に当たって全てを除去するのではなく、木々と調和のとれた施設を整備することで、市民の皆さんが自然を感じながらゆっくりとした時間を過ごせる心地よい空間となるよう整備を図っていきたくと考えています。

(市長)